

# 令和5年度農作物病虫害発生予察技術資料第1号

令和5年(2023年)7月31日  
山口県病虫害防除所

## 水稻のコブノメイガの発生状況と防除対策について

8月中旬以降に出穂する品種で、コブノメイガの発生が多くなることが予想されます。については、発生状況の確認および防除の徹底をお願いします。

### 1 発生状況

- (1) 主な飛来日は、7月2日(並飛来)、7月7日(並飛来)と考えられる。
- (2) 7月下旬の巡回調査では、発生ほ場率61.4%(平年22.1%)、被害株率18.4%(平年4.7%)、被害葉率1.4%(平年0.2%)、20回払い出し虫数は0.1頭(平年0.9頭)で平年に比べ多かった(図1、2)。
- (3) 発生は7月中旬から下旬にかけて急増している(図2)。

### 2 今後の予想

気象予報では、今後も引き続き高温が予想されているため、発生の増加が予想される。本年の成虫最盛期は、8月上旬であるため、8月中旬以降、収量に大きく影響する止め葉や第2葉の被害が多発生すると推定される(図3)。

- (1) 発生地域 県内全域(特に、県西部及び北浦) 8月中旬以降に出穂するほ場
- (2) 発生量 多

### 3 防除対策

- (1) 防除の目安 成虫発生期(8月1日~8日頃)の払い出しで5頭/m<sup>2</sup>以上の場合
- (2) 防除適期 若令幼虫発生期(8月8日~15日頃)

### 4 防除上注意すべき事項

- (1) 葉色の濃いほ場は被害を受けやすいので、ほ場の成虫発生量をよく確認する。
- (2) 出穂後のイネには産卵が少ないため、出穂したほ場ではコブノメイガ対象の防除は必要ない。
- (3) 防除にあたっては、山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準を参照し、使用時期等の農薬使用基準を遵守する(山口県病虫害防除所ホームページ参照)。  
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/122/22316.html>
- (4) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、農薬使用基準の遵守、ミツバチ被害軽減対策など安全で効果的な防除に努める。

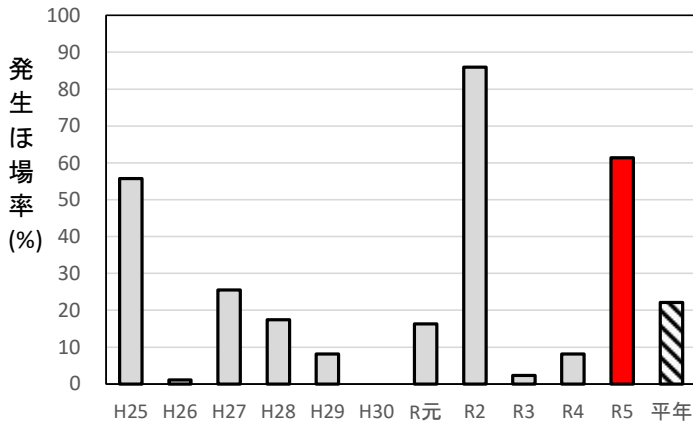


図1 7月下旬の発生ほ場率

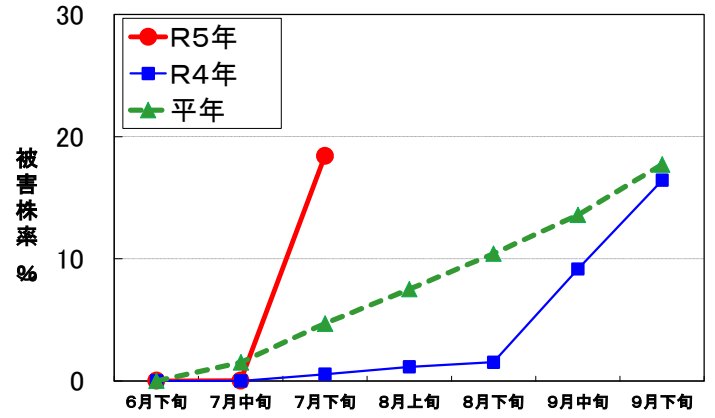


図2 被害株率の推移

コブノメイガ

JPPネット有効積算温度シミュレーション

		8月								
飛来日	飛来量	25	30	5	10	15	20	25	30	
7月2日	並	第1世代幼虫	第1世代蛹	第1世代成虫	卵	第2世代幼虫			第2世代蛹	
7月7日	並	第1世代幼虫		第1世代蛹	第1世代成虫	卵	第2世代幼虫			第2世代蛹

■ : 防除適期

7月30日現在

図3 コブノメイガの防除適期予測図



成虫(雄)



被害葉 (R5. 7. 24)